

区民の皆様へ

三輪地区



第67号

住民自治協議会だより

令和7年10月1日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 藤田 彰
広報委員会委員長 花崎 秀紀
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp
H P: https://www.miwajichikyo.com



公民館部会

地域の音楽祭 ふれあいコンサート ～観て 聴いて 感動～

三輪地区ふれあいコンサート

区民広場委員会 委員長 金井 和彦

6月29日（日）に「三輪地区ふれあいコンサート」を開催しました。
幾年の歴史を重ね、お蔭をもちまして、今回で15回目を迎えることができました。

三輪地区にゆかりのある8つの団体にご出演いただき、園児から小学生、中学生、成人と幅広い構成で合唱や演奏をしていただきました。当日は、出演者を含め約600人の方にお集まりいただき、三輪地区の音楽文化を一緒に楽しむことができました。

今までは三輪小学校体育館で開催していましたが、「暑くて大変！」という声をたくさんいただいておりますので、長野県立大学の講堂をお借りしての開催といたしました。

空調の効いた会場で、座り心地の良い椅子で好評でしたが、室温設定や駐車場の混雑等、新たな課題も見えてきましたので、来年以降の開催に活かしていきたいと思います。

お集まりの皆さま、出演の団体の皆さま、そして運営のお手伝いをいただきました皆さまに感謝いたします。

なお、出演していただきました皆さまは次のとおりです。

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 三輪保育園 | 2. 柳町中学校室内楽部（NOVAキッズオーケストラ） |
| 3. 三輪小学校合唱団 | 4. 「ブルースターズ」 返目 |
| 5. 城東小学校合唱団 | 6. 三輪小学校吹奏楽団 |
| 7. スターバト・マーテル | 8. 吹奏楽団 “夢” |

～素晴らしい合唱や演奏をありがとうございました スタッフ一同より～



区長部会

広いわらび畑 たくさん採ったよ 地域間交流事業「わらび狩りin小田切」

5月11日（日）、小田切地区にある「小野平わらび園」へ、小型バス2台・参加者38人でわらび狩りに行ってきました。

このイベントは、平成28年度の新規事業として始まった小田切地区住民自治協議会との交流を目的とした取り組み。毎年この時期に当協議会が小田切地区を訪れて「わらび狩り」を行い、小田切地区は当協議会が開催します「スマイルボウリングへの参加」や「ひまわり広場での野菜販売」を行うといった、相互の交流を深める取り組みの一つです。

当日は、標高約1,000mにある「わらび園」に到着後にまわりを見渡すと、ほんの僅かでしたが遥か遠くの方に富士山も見えるほどの好天に恵まれた中で、注意事項を聞いた後、おのおのが広い園内に散らばり、食べ頃のわらびを袋いっぱいになるまで採って皆さん笑顔で帰ってきました。



竹の子 採ってお土産貰って元気回復 地域間交流事業「中条地区 竹林伐採整備」

6月4日（水）、区長の皆さんなど計8人で中条地区の竹林伐採に行ってきました。

この取り組みは、中条地区の課題である遊休荒廃農地の拡大により竹が繁茂し、有害鳥獣の繁殖の増加や車両走行の妨げの原因になっていることから、竹を伐採し、森や竹林の整備を図るという地域間交流を目的とした取り組みで年2回行っています。

慣れないチェーンソーを持って、急な斜面を上がりながら伸びた竹を伐採し、切った竹を下までおろして燃やすといった、かなりハードな作業です。

しかし、そのご褒美として、作業中に見つけた竹の子はお持ち帰りすることができ、また作業終了後には、中条地区のお母さん方がつくった竹の子汁と竹の子ご飯を美味しくいただき、尚且つ、土産にと立派な竹の子をたくさんいただける特典がある、とてもハードですが笑顔にもなるイベントです。

次回は多くの皆さんのご参加をお待ちしております。



日頃の備えと地域のつながりを大切に 第1回三輪地区自主防災連絡会研修会

7月19日（土）、三輪公民館3階大ホールにて、第1回三輪地区自主防災連絡会研修会が開催され50人の皆さまにお集まりいただきました。

当日は、元長野県消防長会長や長野市消防局長などを歴任されました藤牧泉氏をお迎えして～三輪地区の防災を考える～「過去の地震災害から学ぶこと」と題し、ご講演をいただきました。

藤巻氏は、県内の大規模災害・事故（大安寺橋バス転落事故、地附山地すべり災害、御嶽山噴火災害、令和元年19号台風災害）に出動し、また全国的には、あの東日本大震災や昨年発生しました能登半島地震においても現地に出動し陣頭指揮を執られるなど多くの経験をお持ちの方です。

これまでの様々な経験や体験などを踏まえ、報道等では聞けなかった災害現場の大変さを聞くこともできました。水害土砂災害の危険性が低い三輪地域ですが、いつ何時何が起こるか予見できない昨今であり、有事に対する備えを長野市発行の「減災のてびき」を参考に、個々人としても地域としてもしっかりと整え、あとは、地域のつながりを大切にしてほしいとの話があるなど、大変貴重で参考になる研修会となりました。



8月5日(火)、「夏休み! 三輪子ども学校」が開校されました。三輪公民館を会場にしたのは2年ぶりです。

今年は、すべてのカリキュラム(調理実習除く)の企画・運営を長野県立大学の学生の皆さん10人をお願いをして開催しました。朝の会のあと、ミニ運動会、調理実習、工作、そして終わりの会を行って終了となりました。

調理実習は、自治協が開催している「料理講習会」のご指導をお願いしております長野県立大学の中澤弥子先生のもと、そのゼミの学生28人の皆さんにもお手伝いをいただき、美味しいお昼をみんなで作って食べました。

一日中、元気な子どもたちの声が響く、とても賑やかな雰囲気公民館でした。

朝の会



ミニ運動会



ミニ運動会

「班対抗戦」として種目毎にポイントを競う方法で行いました。子ども同士協力し合ってたくさんポイントをゲットしようと、空調の効いたホールでしたが、子どもの額からは汗がキラキラと光るほど元気に動き回っていました。



調理実習 メニューは、ニラせんべい、豚汁、果汁ゼリーでした。

料理する子どもたちの様子は、慣れない包丁を使う際などは、学生の皆さんに優しく手を添えてもらいながら、一つひとつ慎重に行っていました。

一生懸命に作った食事をいただく子どもたちの顔は、美味しいのはもちろんのこと、自分で作った充実感と満足感いっぱいの笑顔で溢れていました。

調理実習



工作の時間



工作の時間

ストロー輪ゴム鉄砲、紙ブーメランなど、手軽に作れる物の中から自分が作りたい物を選んで作り、その後は、完成した物を使ってみんなで思いっきり遊びました。

終わりの会



公民館部会

小田切地区連覇 来年こそは… 親善スマイルボウリング大会

部会長 金井 信幸

6月22日（日）、恒例の親善スマイルボウリング大会が開催され、今年も多くの三輪地区の住民の皆さんが参加されました。かつてニューススポーツとして誕生したスマイルボウリングも、長年に渡り三輪地区では広く浸透してきています。普通のボウリング同様、10本のピンを倒すルールですが、レーンの途中に置かれた幅30センチのゲートを通して投球しなければならず、このゲートに1ミリでも接触したり、ゲートを通過しないでピンを倒しても無効という難易度の高いルールとなっています。このルールがスマイルボウリングの大きな特徴であり、プレーする人を楽しませ、夢中にさせる要素となっていると思います。

今年度は、22チームが参加して熱戦が繰り広げられ、三輪地区との地域間交流を行っている小田切チームが、前年に引き続き優勝しました。来年こそは、三輪地区のチームが優勝トロフィーを奪還できるよう、頑張りましょう。

このスマイルボウリング大会が、住民の皆さんの健康増進と親睦をはかる上で有効なイベントとして、今後も三輪地区の活性化に大きく寄与していくことを期待します。



健康・福祉部会

新緑の中 歩いて心も体もリフレッシュ いきいき講座ノルデックウォーキング

【当日の行動】

ウォーミングアップ → 大座法師池の小天狗コース（3km）
→ 大谷地湿原一周（2km）→ ストretch

部会長 戸谷 春美

5月27日（火）、飯綱の大座法師池まで行き、いきいき講座「ノルデックウォーキング」を開催しました。参加者は15人とやや少なめでしたが、天候にも恵まれ、新緑の中を皆さんでウォーキングをしてみいました。

参加者からは、「とても気持ち良かった。」「普通に歩くよりも、ノルデックウォーキングの方が足の負担も少なく歩けた感じがした。」「クリンソウやリュウキンカ、ニリンソウなど春の花々も観賞でき、気持ちも体もリフレッシュできた。」などの感想があり、とても充実した時間となりました。



MIWA ミワコラム Column

実は、SBC通り地下に大暗渠・北部都市排水路が存在する

小林 一三（下宇木区）

地震・雷・火事・風水害は生活上の大きな脅威である。

防災関係資料の整理中、長野市役所に勤務され、後に市会議員また県会議員として活動された三上孝一郎氏の手記が見つかり、上記の水路に関わる記事がありましたので、これを基に三輪地域の防災（水害）についてまとめてみました。

この水路は、地附山の鬼沢（上松・滝）を起点として、上松五差路地下、SBC通り地下、そして吉田高校のグラウンド地下を通して浅川へ放流しています。

水害から上松・三輪・吉田地域を守るために施工され、長さ2,400m下流部断面は幅3.5m×高さ2.5mあり、トラックが通行できる大きさです。

これにより、SBC通りの上流（北側）地域の雨水はこの排水路に流れてしまい、農業用の水だけこの排水路から下流（南側）に流れています。

多くの事業費と労力が投入され、昭和46年に着工、15年間の歳月を経て昭和60年に完成を見ることができました。

暴れ川だった浅川も河川改修工事により、天井川が解消され、また浅川治水専用ダムもすでに完成しています。しかし、自然の力は恐ろしく常に三輪地域の防災対策を備えておく必要があります。



SBC通りより鬼沢遠望